

調査にご協力いただいているモニターの皆さまへ

東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所 共同研究
「子どもの生活と学び」研究プロジェクト



ニューズレター

2025年
3月発行

日ごろより調査にご協力いただいているモニターの皆さまには、
本プロジェクトの活動にご理解をいただき、誠にありがとうございます。

2024年7～9月に実施した「子どもの生活と学びに関する親子調査2024」は、
これまで同様に多くの方にご回答いただき、成果を発表することができました。
また、2025年2～3月にも、一部の方を対象にした調査を実施しています。
ご回答をいただいた方々には、重ねて御礼を申し上げます。

皆さまのご協力のおかげで、たくさんの教育関係者や研究者が
これからの教育のあり方を考える資料として、この調査データを活用しています。

今回のニューズレターでは、「モニターの皆さまへのお知らせ」とともに、
調査からわかった最新の結果をピックアップしてお届けします。
お子様の教育や子育ての参考にしていただければ幸いです。

モニターの皆さまへのお知らせ

●調査の進行状況

| 調査名 | 実施時期 | 進行状況 | ご協力をお願いする方 |
|-----------------------|-----------|------|--|
| 子どもの生活と学びに関する親子調査2024 | 2024年7～9月 | 終了 | 小学1年生～高校3年生のお子様と保護者の方 (小1～3生は保護者の方のみ) |
| 高校3年生卒業時調査 | 2025年2～3月 | 終了 | 高校3年生のお子様 |
| 若者の生活と学びに関する調査 | 2025年2～3月 | 終了 | 19～20歳相当の方 |
| 子どもの生活と学びに関する親子調査2025 | 2025年7～9月 | 実施予定 | 小学1年生～高校3年生のお子様と保護者の方 (小1～3生は保護者の方のみ) |

※2025年も夏にモニター全員を対象にした調査を実施予定です。

●研究結果の活用

調査結果は、東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所のWEBサイトで公開し、いつでも閲覧いただけます。

また、国内の主要な新聞、テレビ、インターネットニュースなどでも数多く取り上げられています。

2024年2月には、本プロジェクトの2冊目の書籍(『パネル調査にみる子どもの成長—学びの変化・コロナ禍の影響』勁草書房)を刊行しました。



重要 ●登録情報の変更のお願い

1) 住所や電話番号に変更のある方は、必ず登録情報変更をお願いいたします。

調査依頼などを確実にお届けするために、ご協力をお願いいたします。

2) メールアドレスのご登録がまだの方は、ぜひご登録ください。

今後はメールでも、調査のご依頼や調査結果のお知らせなどを差し上げます。

皆様には継続してご協力をお願いしたく、お手数をお掛けしますがメールアドレスの登録をよろしくお願いいたします。

登録情報の変更

メールアドレスの登録

「子どもの生活と学び」研究プロジェクトのWEBサイトから変更・登録ができます

●変更・登録→[こちらのページ](#)からお進みください

●スマートフォン、タブレットは、右のQRコードからもページにアクセスできます。

※ 上記の方法が難しい場合は、フリーダイヤル「0120-105506」(通話料無料/月~金10:00-12:00、13:00-17:30/携帯電話からもご利用になれます)までご連絡ください。



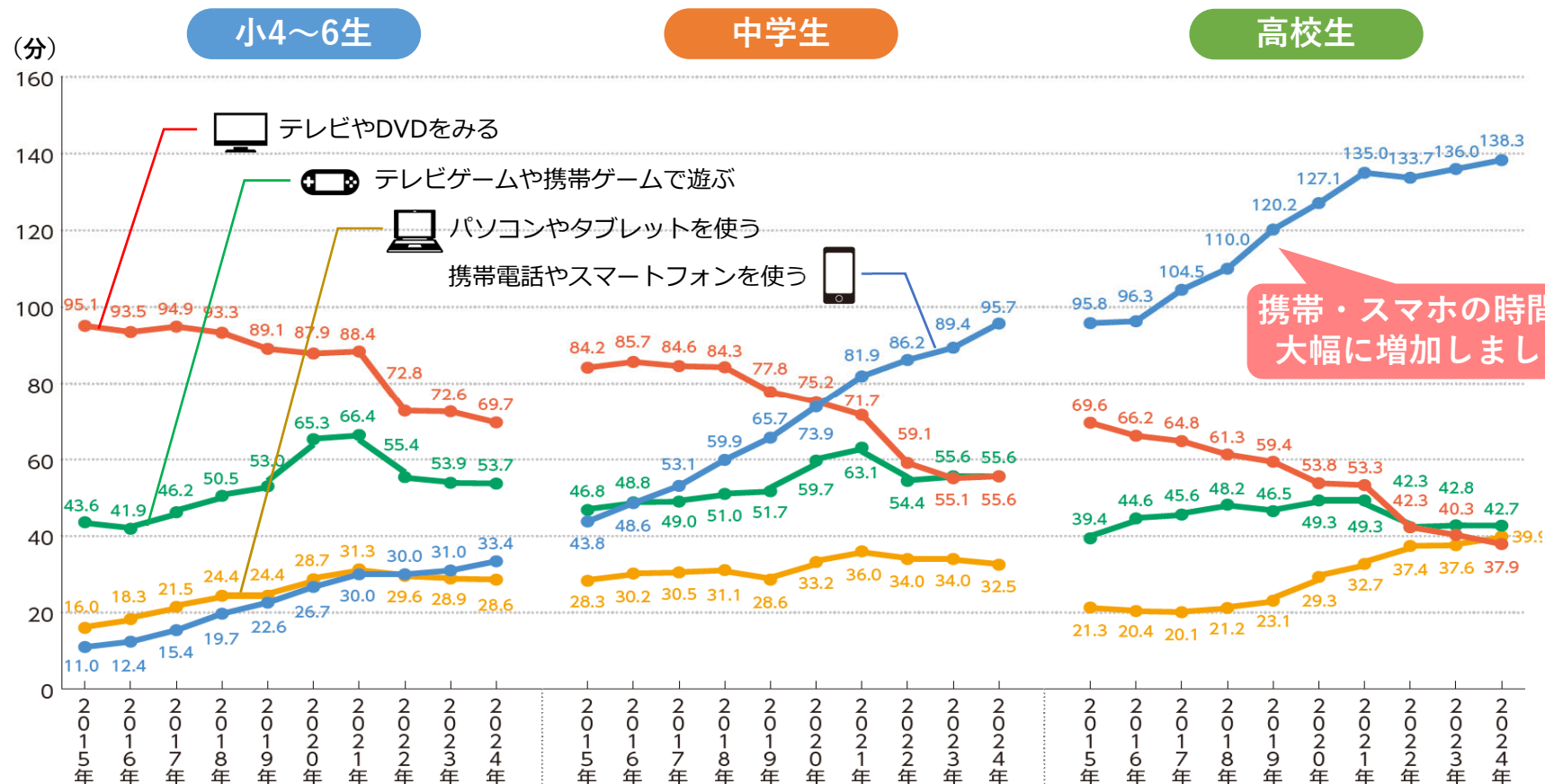
↓ 次のページでは、最新の調査結果をピックアップしてお届けします

「子どもの生活と学びに関する親子調査2024」 調査結果のご紹介 (2024 年7～9 月実施)

調査にご協力を
いただいた皆さま
ありがとうございました！

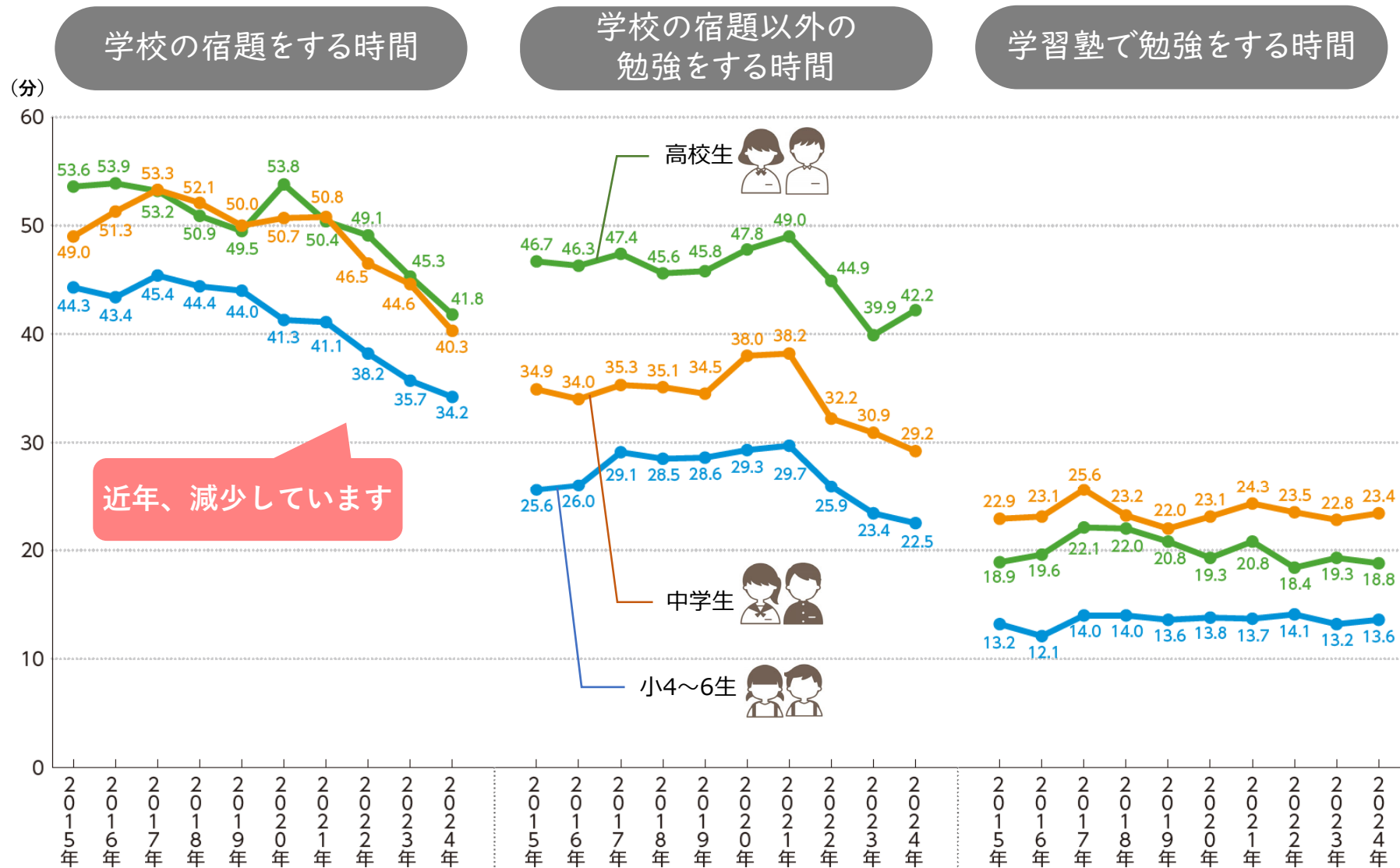
まずは、子どもの「メディア利用の時間」の変化のデータをご紹介します。
「テレビやDVDをみる」時間が減り、「携帯電話やスマートフォンを使う」時間が増えています。

①子どもの「メディア利用の時間」の変化 (2015～24年)



②子どもの「学習時間」の変化（2015～24年）

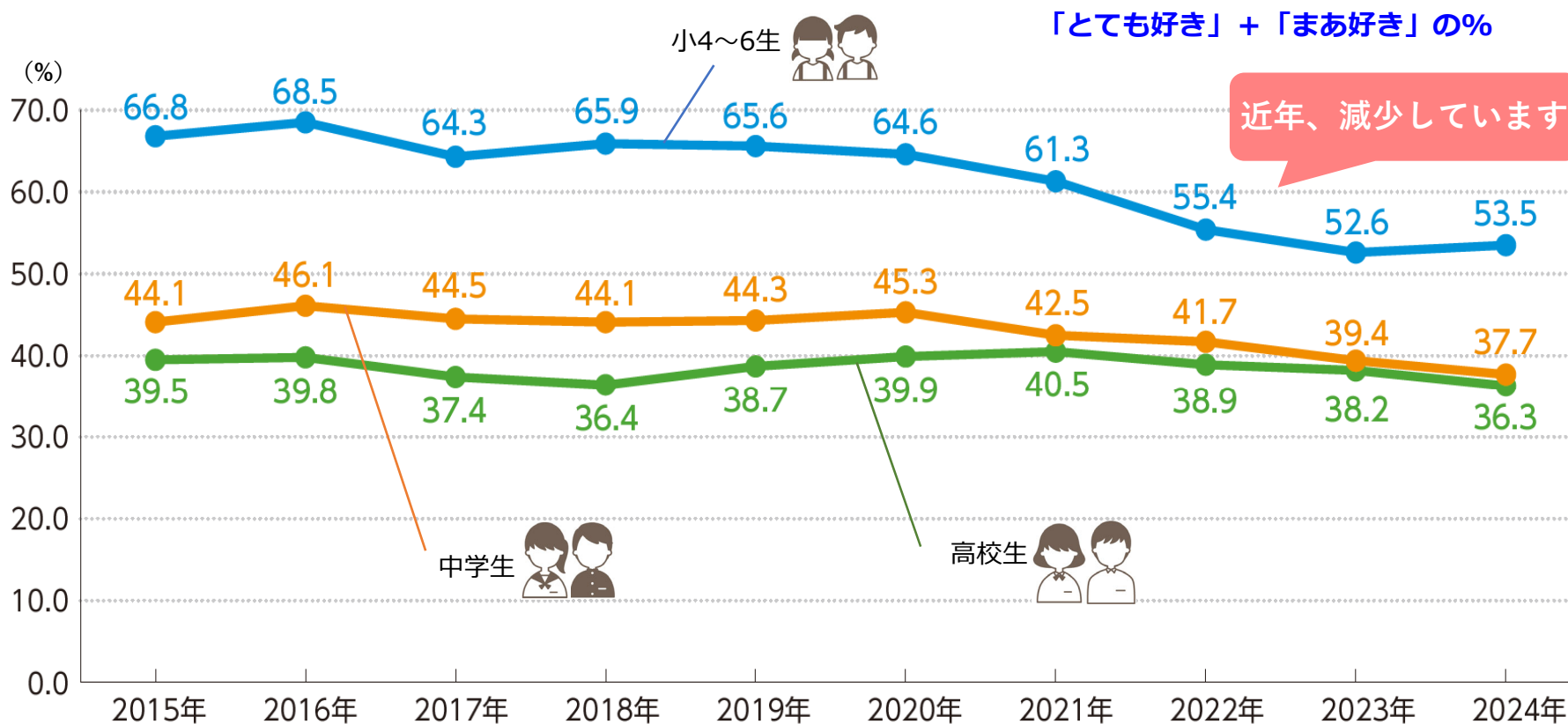
次に、学習時間の変化の変化をみてみましょう。下の図からわかるように、近年、「学校の宿題をする時間」も「学校の宿題以外の勉強をする時間」も減少しています。



③「勉強が好き」と答える割合の変化（2015～24年）

下の図は、「あなたは勉強がどれくらい好きですか？」とたずねた結果です。
勉強が「好き」と答える割合は、小4～6生と中学生で減少する傾向がみられます。

あなたは勉強がどれくらい好きですか？



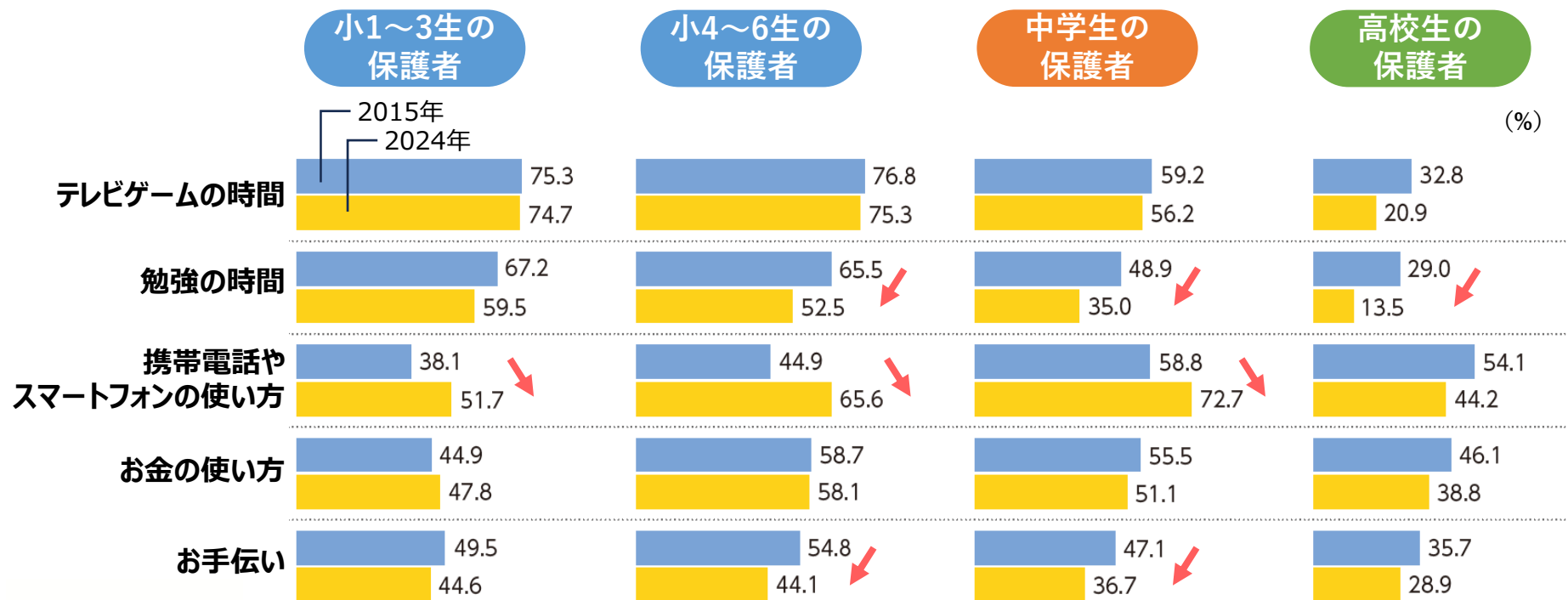
①～②でみたように、携帯・スマホを使う時間が増え、学習時間が減っています。
また、③に示されているように、勉強が「好き」という思いは弱まっているようです。

④「家庭のルール」の変化（2015年と24年の比較）

それでは、家庭のなかではどのようなルールを設定しているのでしょうか。
下の図をみると、「勉強の時間」についてのルールがある家庭は減っています。
それに対して、「携帯電話やスマートフォンの使い方」のルールがある家庭は増えています。

あなたのご家庭では、次のような約束やルールはありますか？

「ある」の%、保護者の回答



※10ポイント以上の増減があった箇所に矢印をつけた



保護者の方は、「勉強の時間」を増やすという働きかけよりも、「携帯電話やスマートフォンの使い方」に気をつける働きかけを強めています。

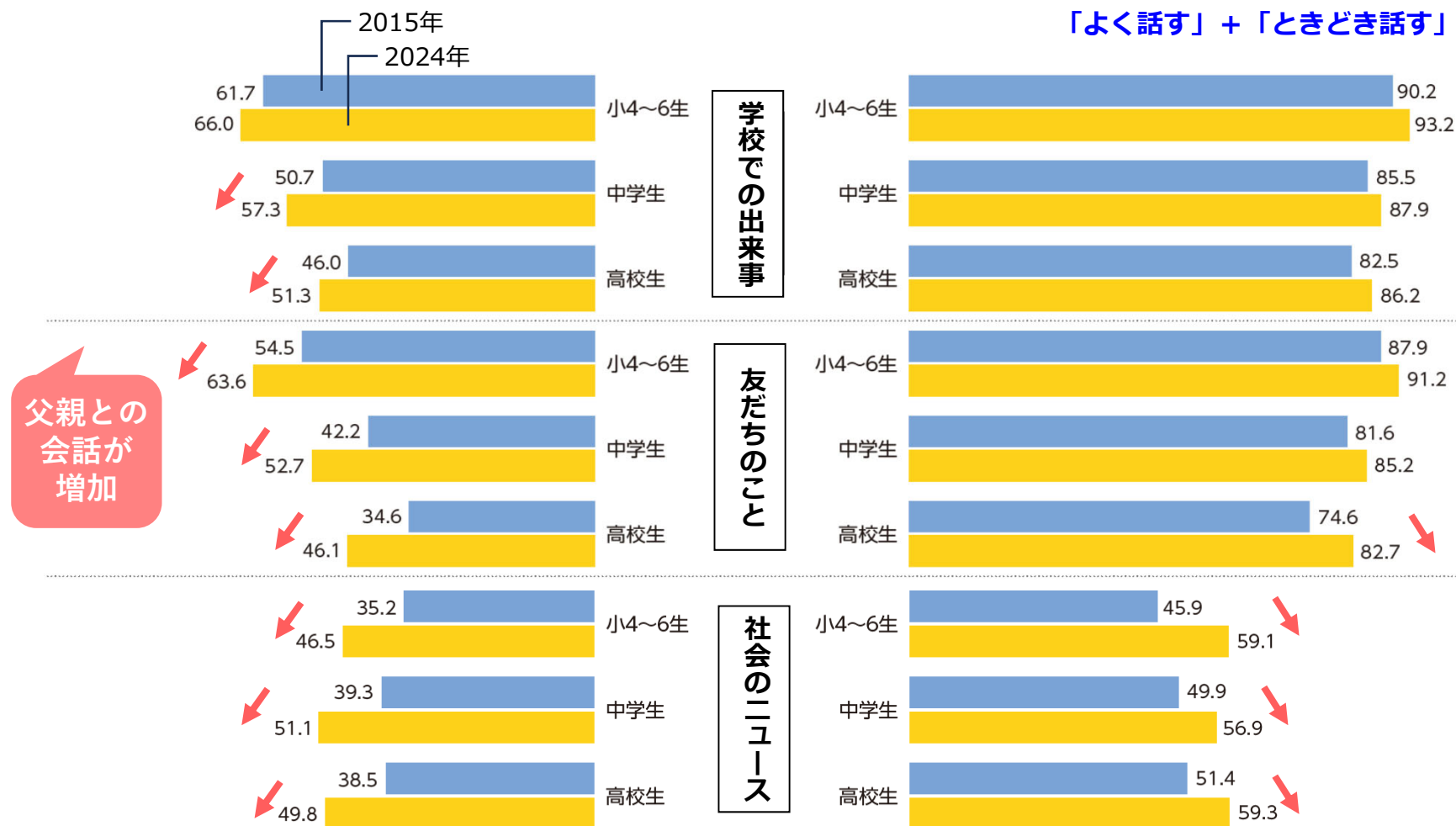
⑤ 「親子の会話」の変化（2015年と24年の比較）

下の図は、「親子の会話」の頻度について、2015年と24年の結果を比較したものです。
これをみると、全体に会話の頻度が増え、とくに「父親との会話」が増加しています。

父親との会話

母親との会話

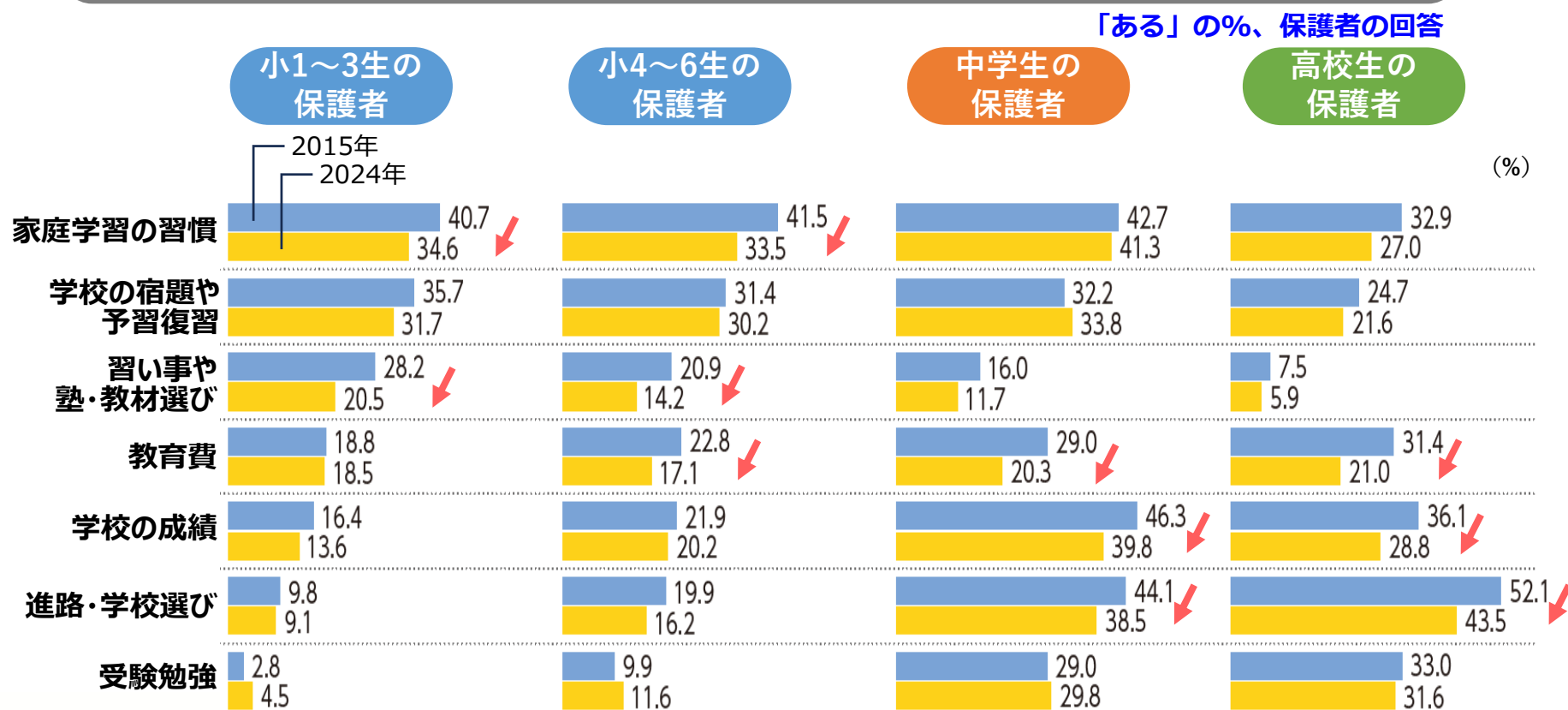
「よく話す」+「ときどき話す」の%



⑥「子どもの学習についての悩み」の変化（2015年と24年の比較）

下の図は、「子どもの学習についての悩み」について2015年と24年を比較した結果です。
全体に保護者の方の悩みは減少傾向にあることがわかります。

次のような悩みや気がかりはありますか？



※5ポイント以上の増減があった箇所に矢印をつけた



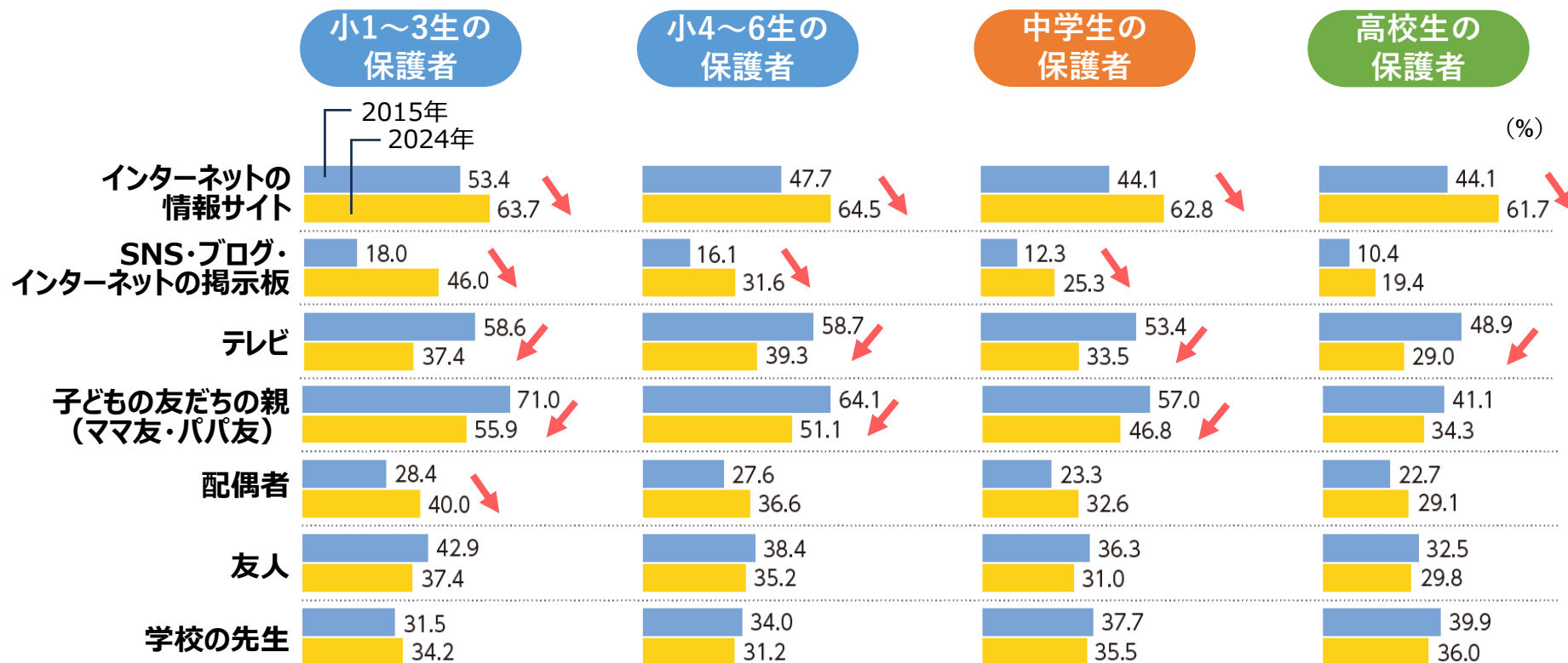
小学生の保護者は「家庭学習の習慣」や「習い事や塾・教材選び」の数値が、
中高生の保護者は「学校の成績」や「進路・学校選び」の数値が減少しています。

⑦「教育の情報源」の変化（2015年と24年の比較）

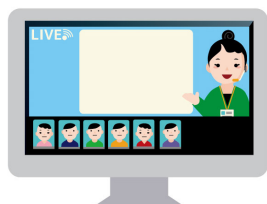
では、保護者の方はどのようなところから子育て・教育の情報を得ているのでしょうか。
下の図は、2015年と24年の結果を比較したものです。

子育てや教育についての情報を、どこから（だれから）得ていますか？

複数選択（%）、保護者の回答



※10ポイント以上の増減があった箇所に矢印をつけた



近年では、「インターネットの情報サイト」や「SNS・ブログ」が増え、「テレビ」や「ママ友・パパ友」を情報源にする割合が減っているようです。

調査結果について

調査の結果をご覧になって、どのように感じられたでしょうか。

10年間の変化では、子どもの「携帯・スマートフォンを使う時間」が増え、保護者の方もインターネットを情報源にする割合が増えるなど、電子メディアの影響を大きく受けるようになったことがわかります。

子どもの学習面では、「勉強をする時間」が減ってはいるものの、子どもの学習に対する保護者の方の悩みは減少傾向にあるようです。



4月は多くの子どもが進級・進学を迎え、新しい環境での生活が始まる季節です。保護者の方は、子どもの様子に変化がないかを気にかけて、学校での様子や学習の状況について、子どもにたずねてみてください。

新しい年度を迎えたこの1年が、皆さまにとって充実したものになることをお祈りいたします。

調査結果の詳細

「子どもの生活と学び」研究プロジェクトのWEBサイトでご覧いただけます

[こちらのページ](#)をご覧ください

「子どもの生活と学び」研究プロジェクト お問い合わせ窓口
フリーダイヤル：0120-105506 (通話料無料)

●月曜日～金曜日 10:00～17:30 (12:00～13:00、土日祝日を除く)

●携帯電話からでもご利用になれます。